

窓口・アクセス

〈 五福キャンパス 〉

1 地域連携戦略室

〒930-8555 富山市五福3190 学生支援・地域連携交流プラザ2F  
TEL 076-445-6177-076-445-6519  
t-senryaku@adm.u-toyama.ac.jp

2 生涯学習部門

研究振興部 社会貢献課  
〒930-8555 富山市五福3190 学生支援・地域連携交流プラザ1F  
TEL 076-445-6956 lifelong@ctg.u-toyama.ac.jp

北陸自動車道「富山西IC」から約10分、「富山IC」から約20分ですが、五福キャンパス内の  
外来専用駐車場が手狭のため、自家用車のご来学はご遠慮ください。  
ご来学にあたっては、公共の交通機関などをご利用くださいますようお願い申し上げます。



〈 高岡キャンパス 〉

3 地域づくり・文化支援部門

芸術文化学部 総務課 総務・研究協力チーム  
〒933-8588 高岡市二上町180 A棟1F  
TEL 0766-25-9139 tiiko@adm.u-toyama.ac.jp



〈 杉谷キャンパス 〉

4 地域医療・保健支援部門

医薬系事務部 研究協力課  
〒930-0194 富山市杉谷2630 共同利用研究棟3F  
TEL 076-434-7139 chiiki@ctg.u-toyama.ac.jp



大学に相談したいけれど、  
どこに相談したらよいか分からないとき、  
【総合窓口】までお気軽にご連絡ください。

総合窓口

富山大学 地域連携推進機構  
TEL 076-445-6519  
chiiki@adm.u-toyama.ac.jp



〈 地域に開かれた大学の総合窓口 〉

# 富山大学 地域連携推進機構

Organization for Promotion of Regional Collaboration



富山大学 地域連携推進機構

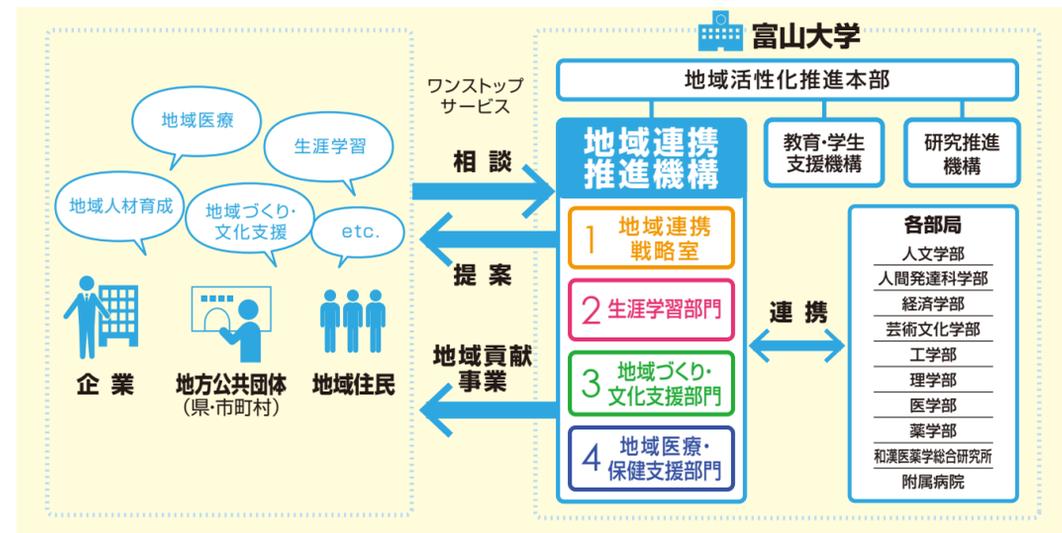
ホームページ <http://www3.u-toyama.ac.jp/chiiki>  
〒930-8555 富山市五福3190 学生支援・地域連携交流プラザ1F 研究振興部 社会貢献課



# 富山大学 地域連携推進機構は、 地域に開かれた大学の総合窓口です。

社会人教育・地域づくり・地域医療など地域との連携に係わる機能を一つの組織にまとめ、多面的・複合的な連携を要するような課題や、“どこが大学の担当かわからない”といったような時、総合窓口が関連部署との連絡調整を行い、地域のニーズにスピーディに対応し、地域の発展のため貢献します。

## 1 地域貢献事業の推進と地域からの相談のワンストップ化



## 1 ごあいさつ

学長 遠藤 俊郎



21世紀における大学は、知の継承・知の創造を基礎として、地域における学術文化の発展と教育・医療・福祉等の基盤づくりに貢献し、かつ国際社会に開かれた活動を積極的に行うことを期待されています。そして大学が果たすべき最大の役割は、日本・世界の将来を担う人材を世に輩出することにあります。

富山大学は、2015年10月に県内の3国立大学(旧富山大学、富山医科薬科大学、高岡短期大学)の再編・統合により誕生してから、10年を迎えました。教職員2千人、学生・院生1万人の知的大集団で、教育研究分野は文学、哲学、歴史から経済、教育、理工、医療、芸術まで実に広範囲にわたります。このように富山大学は、多様な分野からなる総合大学のスケールメリットを活かして、地域社会が抱える多様な問題や地域を交えたグローバルな活動に取り組むことにより「地域と社会に貢献する総合大学」を目指します。

地域連携推進機構は、このような地域との連携強化の窓口として富山大学が設置した組織です。地域の皆様には、是非本機構をご利用いただき、大学との連携推進にお役立ていただければと願っています。

機構長 鈴木 基史



富山大学は、地域に生まれ、共に発展してきた大学であり、地域に根ざした知的拠点として地域発展のためにお役に立ちたいと考えております。地域の発展に資する人材の育成と研究は本学の責務であり、長期的意味での地域貢献としてその充実を図ってまいります。加えて、より直接的な貢献、すなわち地域の産業界との連携、市民向けの講座の開講、地域の自治体や団体の事業への協力等は本学が果たすべき重要な役割です。

本学では、このような地域貢献事業の推進と地域からの相談のワンストップ化を地域社会と連携する中核拠点としての機能を果たすため、地域連携推進機構を設置しました。本機構は、「地域連携戦略室」と「生涯学習」「地域づくり・文化支援」「地域医療・保健支援」の3部門からなり、各部門がそれぞれの事業を推進すると共に、地域連携戦略室と3部門が一体となって本学の知的資源を地域の発展に結びつける新たな事業展開を目指しております。

関係各位には、本機構の活動にご理解ご協力をお願いしますと共に、地域連携に関する相談、提案を気軽にお寄せいただけますようお願いいたします。

本学では、地域を志向した教育・研究・社会貢献を推進し、地域活性化の中核的拠点として地域の活性化を図るため、地域活性化推進本部を設置し、その下に3つの機構を設けました。その1つである地域連携推進機構は地域社会と連携する中核拠点としての機能を拡大することとしています。

部門紹介 | 地域連携推進機構は、地域連携戦略室と生涯学習部門、地域づくり・文化支援部門、地域医療・保健支援部門の3つの部門で構成されています。

## 1 地域連携戦略室

室長 金岡 省吾 (地域連携推進機構・教授)

地域連携戦略の企画立案、地方公共団体や民間企業、各種団体と連携した地域振興への企画立案及びコーディネート等、本学の地域連携に関するシンクタンク機能を担います。

地域が直面する課題に対し、多様な主体と連携し学生への教育とともに、社会人を対象とした人づくりであるフューチャーミーティングを通して、地域課題の解決に取り組みます。また、富山の地域創生を目指して、大学と地域とのさらなる連携を目指すCOC+事業を推進しています。



魚津三太郎塾での修了式



舟橋村での連携事業

## 2 生涯学習部門

部門長 森口 毅彦 (経済学部・教授)

大学の知的資源を開放することを通じて、地域社会における生涯学習の振興と充実に寄与します。

公開講座とオープンクラス(公開授業)を通じて富山大学の知識を開放し、地域社会の学習環境を豊かにします。あらゆる世代が自然にキャンパスを歩きか、そんな富山大学の学風を目指します。また、地域の生涯学習・社会教育団体と連携し、講師紹介、研修活動支援、学習プログラム開発などを行います。



学生と共に学問を探究するオープンクラス



富山駅前学べるサテライト講座

## 3 地域づくり・文化支援部門

部門長 奥 敬一 (芸術文化学部・准教授)

地域と連携して高度差4000mが育む地域資源を活用した地域づくりを推進するとともに、人・地域文化・伝統文化などの文化資源を生かした文化支援を行います。

地域の資源を生かした地域づくりによる地域社会の活性化や、豊かな生活の醸成への支援のため、大学内に留まらず積極的に地域との連携を進め、地域と大学が一体となった「地域のキャンパス化」の実現に向け、地域づくり支援と文化活動支援を展開しています。



地域資源活用に向けたシンポジウムの支援(南砺市利賀地区)



特別公開フォーラム「富山の文化的景観」

## 4 地域医療・保健支援部門

部門長 関根 道和 (大学院医学薬学研究部・教授)

地域の保健・福祉・健康増進のための活動及び医療支援を、地域社会と密接に連携して推進します。

地域の各種社会資源と連携した、地域医療や地域保健に関する調査研究、人材育成、情報発信に関する事業を行っています。平成27年度からは、地域包括ケアシステム推進事業を中心とした各種事業を実施しています。



COC+キックオフシンポジウムでの講演の様子



地域包括ケアシステムに関するセミナーの様子